

こ や す 坂

第 43 号

平成30年3月1日

発行
金沢桜丘高校PTA



3S 歩行...



平成29年10月1日(日)

Spirit Sympathy Self-Control

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。桜丘高校での3年間、多くの友と語り合い、あるいはLINEをしたり、冗談を言い合ったり、そして何よりも、それぞれの目標に向かって、勉学に部活動に精一杯励まれたことと思います。それらの思い出と共に、節目、節目に下根校長先生はじめ諸先生方から戴いた桜丘高校の伝統「質美剛健」が、知らぬ間に心身ともに染み付いていることと思います。

テクノロジーが進化すればするほど、「質美剛健」なる皆さんは求められます。つまり、皆さんが大活躍する時代が向こうからやってくる。それぞれの次なるステージへ行かれても、安心して質美剛健に磨きをかけてください。

大活躍される皆さんにお伝えしなければならぬことが何点かあります。まず、しっかりと栄養を補給すること、十分に睡眠をとらず突っ走っていると、生身の人間は必ずぶっ倒れてしまうということです。春から親元を離れる方もおられると思います。健康管理には十分留意して下さい。けれど、そんな基本的なフオローをしてもどうしても疲れてしまう時があります。テンションが下がる、あるいはやる気が起きない、そんな時です。

そんな時は、「本物」の芸術に触れ



ご卒業おめでとうございませす

PTA会長 熊野盛夫

てみてください。音楽でも絵画でも演劇でもジャンルは問いません。何が本物かと問われる方がおられるかもしれませんが、それに触れて、あなたが「よし、明日もがんばろう」と思えば、それが本物です。プロスポーツ観戦もよいかもしれませんね。

そして、人生の扉を開ける秘密のことばについて。それは「ありがとう」の感謝の言葉です。感謝の言葉は感謝の心で、この心があふれる人生ほど幸せといえるかもしれません。素直な心で、あなたの大切なひとにありがとうを伝えて下さい。また、あなたが自身が、あなたにありがとうを伝えて下さい。きつとあなたの心身が細胞レベルで喜びに震えます。

最後になりましたが、先生方には愛情と情熱を持って日々ご教示くださったことに、保護者の皆様には、3S歩行や桜高祭、その他様々なPTA行事に際し、快くご協力戴きましたことに、地域の皆様には常日頃よりあたたく見守ってくださっていることに対して、PTAの役員を代表して厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

わたしたちがあたり前に生きる今日という日は、昨日亡くなったあの人がどうして生きてきたか明日という日。これからも一日一日を大切に生きていきたいと思います。



質実剛健という人間力

学校長 下根 浩明

この1年、PTA会員の皆様には日頃の勉学や部活動はもちろん、SS歩行、桜高祭をはじめ、様々な教育活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、卒業生の保護者の皆様には、お子様が美り多き三年間の桜高生活を終え、晴れの門出を迎えられたことに心よりお祝いを申し上げます。卒業後も生涯にわたり、本校で培った質実剛健、文武両道の三桜魂を携え、幅広く社会に貢献されることを願っております。

さて、今年度を振り返ると、夏休み初日に実施した野球部への全校応援は大変感動的でした。熱い中、全校生徒が野球部の勝利という一つの願いに集中し、全力で応援したことは、桜丘の結束や母校愛を高め、生徒にとって一生の思い出に残ると思います。また、初めて土曜日に実施した桜高祭は多くの保護者の皆様や他校の生徒も来校し、生徒達の意欲も高まり例年以上の盛り上がりでした。教育ウィークに実施したNSH講演会ではファミリーマート社長で本校28期卒業生の澤田貴司さんから

「君たちと僕は何も変わらない。違うのは経験の差だけだ。失敗を恐れず、いろんな事にチャレンジして欲しい」との熱いエールをもらい、生徒達は大変勇気づけられました。

一方で残念なこともあります。それは挨拶できない生徒が目立つようになったということです。保護者アンケートでもそんな指摘が数多くありました。挨拶や感謝の気持ちというのは人としての根っこ部分であり、しっかりと備わっていないければいけません。人工知能やIOTが急速に進歩するこれからの時代を生きていくために必要な能力は人間にしか持ち得ない能力であると言われます。例えば、問題解決能力や思考力、創造力、コミュニケーション力等です。人間にしか持ち得ない能力とは一言で言えば人間力です。そして人間力の基礎にあるのが挨拶や感謝の心だと思っております。

今後、多くの仕事が消滅を余儀なくされ、別の新たな仕事が生まれる予測困難な時代に突入します。また、

いい大学を卒業して大企業に勤めて定年まで働くといった、これまでの一つの正解らしきものも崩れていきます。そんな中で、多くの人たちが生きるための新たな正解を模索し始めています。80年前に発刊された吉野源三郎著「君たちはどう生きるか」が今ベストセラーになっていることもその表れです。生きていく上での基盤となる人間力をしっかりと身に付け、足腰を鍛えておくことがどんな時代が訪れようとも決しておれることなく逞しく生き抜くためには必要であると思っております。他なりません。

桜丘の校訓「質実剛健」とは感謝の心を持ち、自分を飾らず、少々のことでもへこたれないタフで優しい人であれということであり、桜高生が身に付けるべき人間力をわずか四文字に凝縮し、表現したものです。今後も桜丘は100年の歴史を紡いできた校訓「質実剛健」の意味を生徒の心に深く刻み込み、生徒一人ひとりに自分はどう生きるかを真摯に考えさせていくことが重要であると思っております。

保護者の皆様には、1年間本当にありがとうございました。そして今後も桜丘の教育方針にご理解を賜るとともに、なお一層のご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



めった汁作り

PTA副会長 杉本さなみ

めった汁。そもそも私が役員をお引き受けすることになったのは、娘が桜丘入学が決まった時「噂の3S歩行でめった汁を作ったって応援したい」というシンプルな想いが発端でした。

まずは桜高祭で試作を兼ねた模擬店です。この時はカット野菜を使うので戸外で大鍋とプロパンを使いこなすことに注力です。

さて、いよいよ3S歩行。今年めった汁作り経験がある保護者の方々にリーダーとなっていただき、野菜を切る、煮る、食器の準備、盛り付けの段取りを把握していただいで臨みました。皆さんさすがベテラン主婦、初めての方も手際よく頑張ってくださいました。その上、重い鍋を運ぶのには男手も必要と、男性役員(の寺沢さんにメンバーに入っていた)だったので調理室から配膳場所への物流も良好。具材も役員(の藤村さんがご自身の農場の五郎島金時を提供してくださった)のおかげで、絶品めった汁となりました。



ゴールしてへととの生徒達の「お代わりお願いしますっ!」の笑顔はまる一



3S歩行

PTA会計監査 中村 麻利

日の疲れも吹き飛ばしてくれて「たくさん食べてやー」と食堂のおばちゃんになりきったことでした(同じく満足気な笑顔を見せられておられた寺沢さんが今年一月に急逝されたのは未だに信じられません)。ご協力いただいた皆様、親子で得難い経験をさせてくださった桜丘高校に感謝の気持ちでいっぱい。ありがとうございます。お疲れ様でしたーお世話になりました。

10月1日、日曜日。桜高生にとって待ちに待った(!?)3S歩行の日。今年29回目の桜丘高校の伝統行事です。暑くもなく寒くもなく恵まれた天候で当日を迎えました。なにしろ43・5キロも歩くわけですから、持たせる飲料や軽食は何が良いか、テーピングの巻き方は大丈夫か、しっかりと睡眠もとらせなければ、などと親である私たちも多少の緊張感があったのだと思います。実は私自身、桜丘高校出身なので3S歩行は3回経験者です。43キロという道のりの長さ、辛さがわかるが故、生徒たちへの頑張りに込める想いも大きく感じ

ました。私はゴールした生徒に振る舞うめった汁担当として、3S歩行に携わらせて頂きました。ゴールである桜丘高校での役割だったため、スタート時や歩いている生徒たちの様子は見ることはできませんでしたが、学校からの幾度にもわたる実況中継メール配信のおかげで生徒たちの姿が思い浮かび、めった汁班全員で状況を確認し、応援しながら生徒たちのゴールを待っていました。

13時過ぎ、校長先生も桜丘高校に戻り、ゴールする生徒たちを迎える準備もバツチリです。そして13時30分、一番の生徒がゴール、以降続々と生徒たちがゴールしました。拍手に声援、音楽、握手したり、抱き合ったり、ゴールは歓喜の渦でした。生徒たちの達成感に溢れる晴れやかな表情、仲間と笑い合う光景、また辛いながらも踏ん張ったんだなと思えるしぐさ、そんな様々な場面を見て、沢山の感動をもらいました。そしてどんなに疲れていても生徒たちは皆、めった汁を受け取るときに「ありがとうございます!」の一言をくれました。改めて桜高生っていいなと実感しました。

最後に、このような感動的な行事を運営指導して下さった先生方、積極的にボランティアとしてお手伝いして下さった500名を超える保護者の皆さまに感謝申し上げます。桜高生にしか味わえない貴重な行事、素晴らしい3S歩行に携われたことを幸せに思います。ありがとうございます!



GOAL

11月6日 NSH講演会



講師の澤田真司さんとの昼食

委員会報告

総務広報委員会

総務広報委員長 稲置 慎也

総務広報委員会は、熊野委員長を中心に、役員5名、実行委員11名の計16名で構成されており、年2回発行される広報誌「こやす坂」の編集を主要な活動としております。「PTA活動と生徒の頑張る姿が伝わる内容」を目指し、先生方から誌面構成のアドバイスをいただきながら、執筆者の選出や特集記事等について協議して参りました。今回の第43号では、校訓である「質実剛健」を体現する「3S歩行」を特集記事とし、PTAの活動報告、学校の現状、生徒の授業評価、部活動の大会成績等を掲載いたしました。この1年間、PTAの皆さまに、わかりやすく読みやすい「こやす坂」を届けようとメンバー全員が取り組みました。ご寄稿いただきました皆さま、本誌の編集にご尽力いただきました先生方により感謝申し上げます。

母親保健委員会

母親保健委員長 北川 堅吉

当母親委員会は、金沢地区生活指導・母親代表委員会で開催する講演会への参加を主とした活動をしており、参加者自身の家庭教育や生涯学習として見聞・見識を幅広く高めています。今年度も3回の講演会にそれぞれ参加しており、「インターネットの安心・安全な使い方」、「消費者トラブルから身を守る」、「白山開山千三百年によせて」等の講演会を拝聴しました。

私たちの頃とは違い、生徒たちを取り巻く社会や家庭環境、そして進学する大学も大きく変わっています。その中で、講演会への参加や3S歩行などPTA活動を通しての交流や情報交換が自身のステップアップに繋がるとも思っています。

ある教育者が提唱した「子育て四訓」の一つ「青年は目を離せ 心を離すな」という言葉に共感する日々ですが、何はともあれ、生徒たちには充実した高校生活を送ってほしいと思います。

12月15日~17日 2年生勉強合宿



生活安全委員会

生活安全委員長 岡田 喜樹

本年度の生活安全委員は二十一名で、うち三年生が五名、二年生が七名、一年生が九名です。委員の皆さんには、感謝申し上げますとともに、次年度以降も充実した活動をしていただけるものと期待しています。生活安全委員会の主な活動内容は本校生徒の生活指導と、県高P連と金沢地区高P連が主催する研修会に参加することです。研修会では、高校生のスマホ利用の美態やSNSによるトラブルについて具体的に学ぶことができ、とても勉強になりました。

六月と九月に行われた自転車交通マナー指導では、朝の七時二十分から先生方と生活安全委員が、鳴和と大樋の交差点に立ち、自転車乗車マナーやあいさつの励行などの指導を行いました。本校生徒はマナーも良く、元気にあいさつをしてくれるので、気持ちの良いひと時でした。これを機にさらに交通マナーの大切さを自覚し、また、今まで以上に思いやりの心を持って欲しいと思います。

1月13・14日 センター試験



「社会の変化と保護者の視点」

進路指導課長 島崎 徹

グローバル化の進展に続き、IoT、ビッグデータ、人工知能、ロボットなどの社会の急激な変化を押し進める技術の飛躍的な進化などにより、これまで実現不可能と思われてきたことが実現できる社会になるうとしていきます。これに伴い、産業構造や就業構造も劇的に変わると見込まれ、「第4次産業革命」へと突き進んでいる社会情勢の中、子どもたちは将来活躍できるように力を身に付けることが必要になります。

教育においても社会の変化に伴い、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を課題とする方向に、また大学入試も段階的に変わりつつあります。2020年度から始まる新しい大学入試制度では、「学力の3要素」①知識・技能（思考を展開するための土台）②思考力・判断力・表現力（論理的に思考し、判断する力）③「主体性・多様性・協働性」（想像する力）が評価され、グローバル化に対応して英語力は「聞く・話す・読む・書く」の4つの力を評価する方向へと変わります。

大学教育では、受け身の教育から能動的な学習への質的変換が進んでおり、企業や自治体と連携して社会で活躍できる力を培う教育も行われています。経済同友会のアンケート調査では、求められる資質・能力は「コミュニケーション能力」「課題設定力」「解決力」「忍耐力」「異文化適応力」

の4つに集約され、「チャレンジ精神」や「逆境に耐え、粘り強く取り組む力」はグローバル事業に限らず、変化を続ける社会で活躍できる力として必要になります。

保護者の皆様のとまごとは社会情勢が変化してきており、変化に対応して活躍できる力を身に付けるためにも、子どものやりたいことを一番大切にしつつ、個々の大学の教育内容、方法にも目を配り、強みや可能性を伸ばし、自立・成長させてくれる大学を選ぶという視点をお持ちいただければと思います。

学校の様子について

生徒指導課長 本間 淳

身なOUSUN

制服の着こなしが乱れています。男子はシャツの裾をズボンに入れない、第一ボタンをはずす、女子は校章をつけない、セーターが上着からはみ出てだらしない見える、スカートを腰部で折り曲げて短くしているなどです。声をかけるのはいつも同じ生徒です。

あすなUSUN

年間通じて登校指導をやっています。身なり指導はもちろんです。できるだけ多くの生徒とあいさつを交わすようにしています。率先してあいさつをする生徒はいますが、一方で、こちらからの声かけに反応を示さない生徒もいます。学校を訪れる保護者の方や外部の方からも同様の声が上がっています。

千人の生徒が一樣にはいきませんが、より多くの生徒があいさつを交わせるよう引き続き声をかけていきます。

自転車マナーについて

石川県警による高校生の自転車マナー指導状況が毎月届けられます。残念なことに、本校はその指導回数が県内高校でワースト5に入っています。学校でも注意を喚起していますが、校外では生徒の規範意識に頼らざるを得ません。

保護者による車の送迎について

雨や雪の日は、車での送迎が多くなりますが、校地は狭く、保護者の車が生徒と接触しそうなったことがあります。怪我をしているなどを除いて、坂の上までの送迎はお控えください。また、坂の下での乗降についても、他者の迷惑になるような駐停車はおやめください。

これらのことについて、ご家庭でも話題にいただけたらと思います。



冬は雪...

2月9日 1年生人権講演会

1月31日 NSH合同発表会



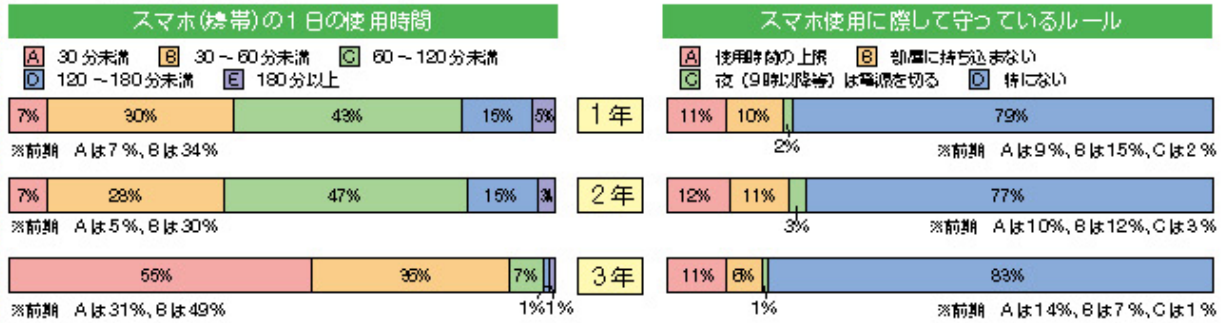
テーマは「空耳英語」



生徒学校評価(後期)の結果より

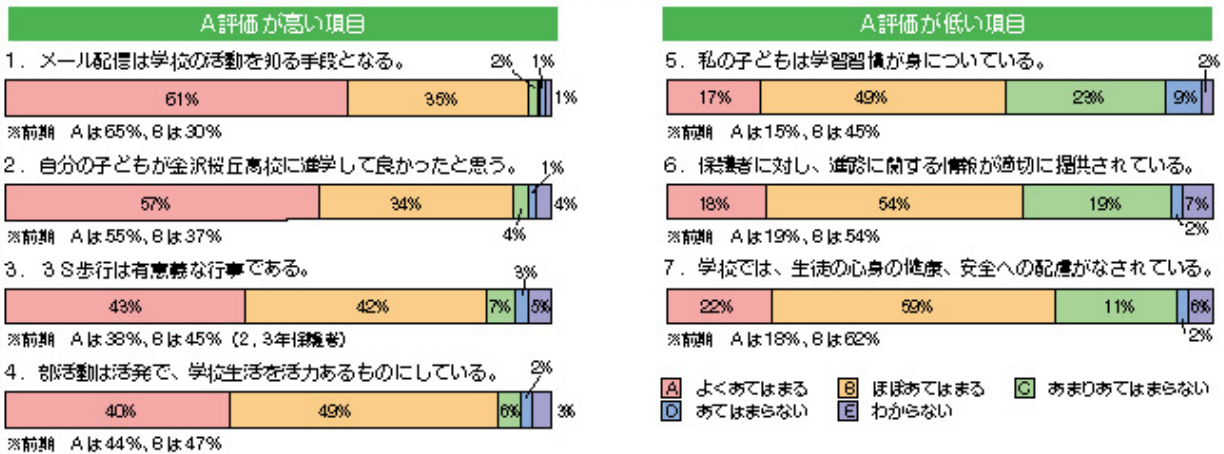
スマートフォンや携帯電話(以下「スマホ」と表記)についてのアンケートを、前期に引き続き実施しましたので、結果の概要をお知らせします。スマホの使用時間は、1年生の20%(前期は18%)、2年生の18%(前期は17%)が1日に2時間以上使用しており、いずれも前期より増加しています。また、家庭で使用の際に守っているルールが「特にない」という生徒も80%(前期は78%)にのぼります。

スマホに費やす時間は3年生になると格段に減りますが、受験を意識するのが3年生になってからでは遅いと同様に、使用時間も3年生になってから減るのでは「時すでに遅し」となりかねません。学年に関係なく、今後、自律した生活が送れるように、ご家庭でも指導をお願いします。



保護者学校評価(後期)の結果より

各項目とも概ね肯定的な評価(A+B)をいただきましたが、A評価の割合にはかなりの幅があります。また、進路選択等におけるホーム担任との熟慮についても肯定的な評価を多くいただきました(前期74%→後期87%)。今後も保護者の皆様のご意見や学校評議員会・学校関係者評価委員会の提言を基に教育活動を進めてまいります。



第4回 3S歩行 (4)

第5回 3S歩行 (5)

第3回 3S歩行 (3)

第2回 3S歩行 (2)

第1回 3S歩行 (1)

第6回 3S歩行 (6)

先達賞のメダルがありました。

第2回は超悪天候にもかかわらず、先達率はアップ!

当時は、自己タイムの短縮をめざす「3S歩行」でもありました。

3S歩行とは、…

出発のときの言葉=3Sの謎い=から

- ・三中、桜丘の校名から、3Sという言葉を思いついた。
- ・目標としてS行で始まる3つの言葉を考えた。「質美剛健」「終始一城意」「切実琢磨」すなわち、長距離歩行の姿は質美剛健そのものであり、終始一貫したむきな意を通しつづ一瞬一瞬にベストを尽くすべく、また友と励まし合い助け合うことで己れを高める喜びでありたいこと。
- ・Spirit, Self-control, Sympathy… (以下、略) 学校長 高遠 謙一

なお、「3S歩行」の命名日は、平成元年6月15日です。

知っていますか? 3S歩行

3S歩行…

特集

生徒授業評価(後期)について

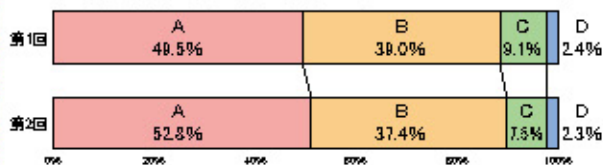
教務課

次のグラフは、12月に実施した第2回授業評価の結果です。今年度は、特に、評価項目1～5のA評価の平均が65%以上になることを目標に取り組んできました。結果は49.9%で目標に達しませんでした。1回目(7月に実施)46.2%より3.7%増となり改善されました。特に項目2「熱意や工夫が感じられる」と項目5「興味・関心が高まる」のA評価が1回目よりそれぞれ4.4%増、4.3%増となりました。10月、全教室にプロジェクターを設置し、ICT機器の活用等が進んだ成果が出ています。AとBを合わせた割合も評価項目1～5の平均が1回目85.0%から2回目86.9%と良くなりました。生徒たちの志を育て進路希望を実現するために、この結果を踏まえて、さらに授業の充実に努めて参ります。

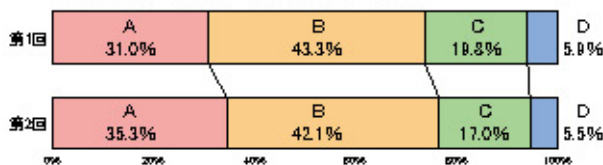
【全生徒・全教科の集計】

A よくあてはまる B あてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない

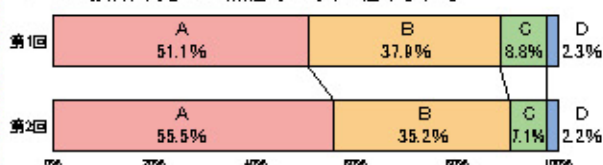
1 この授業は、「ねらい」がよく分かる



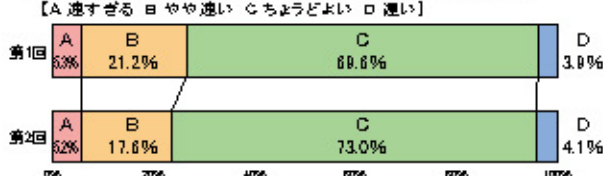
5 授業を受けて、さらに興味・関心が高まる



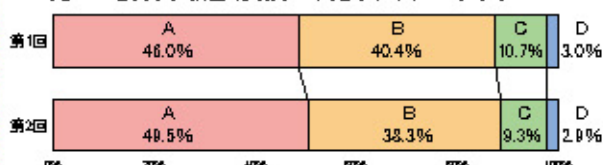
2 この授業は先生の熱意や工夫が感じられる



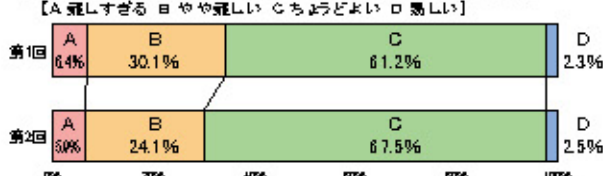
6 授業のスピード(学習進度)についてどう思いますか



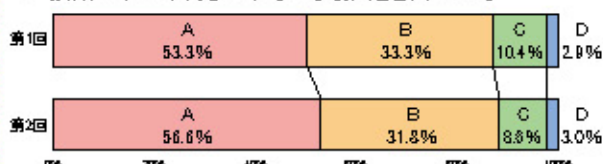
3 先生の説明や板書(実技では指示)はわかりやすい



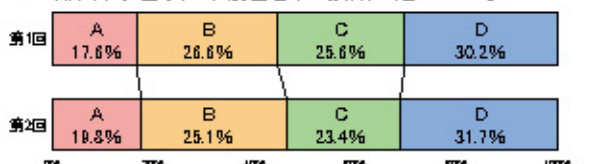
7 授業内容のレベル(難易度)についてどう思いますか



4 授業の中では、先生は考える場面を設けている



8 (私は)予習または復習をして授業に臨んでいる



3S歩行は、「時代」とともに、

今では考えられません。

- 第3回** 秋に石川団体が開催されるため、6月23日に実施。また、能登有料道路の四車線化工事のための通行禁止区間を、特別許可にて、通行した。
- 第4回** 能登有料道路の四車線化工事のため、出発地を根上町翠ヶ丘公園とし、松任海浜公園、泉民海浜公園、大浦小学校に開門を設置。最初で最後?の「加賀海浜コース」
- 第5回** バーコード導入。先頭11:18、最終18:48にゴール。以後、歴代記録が保存される。
- 第15回** 平成14年カップ麺容器の環境ホルモン毒性が、社会問題化する。そのため第4回から10年間、ゴールした生徒に渡していた温かいカップ麺を止め、「めった汁」となる。新たな歴史のスタート!
- 第25回** 生徒のデザイン・アイデアによる「3Sスタオル」作成開始。今年で5年目となる。

3S歩行・エピソード「0」

「絶対無理」への挑戦

平成元年3月25日、運動部・文化部の生徒48名と教職員20名の68名が内灘高校から羽咋市の国立能登青年の家までの約39kmを走破しました(女子3名がリタイア)。絶対に無理とささやかれるがらの船出でした。こうして、今年で29回目となる3S歩行への道が拓かれました。



全国高P連で発表

平成9年8月の第47回高P連全国山形大会で、当時の南登文PTA会長が、第8回3S歩行での取り組みについて、報告し、全国から参加した多くのPTAから、称賛を受けました。当時の保護者の協力者は153名。生徒には、温かいカップ麺とジュースが配られました。なお、今年は542名(約3.5倍)の保護者の方が協力してくださいました。



桜丘の「名物」から、「伝統」への飛翔

運動部各種大会上位入賞者

県新人



- 陸上競技部 男子 400m 室村 幸輝 6位
男子 800m 室村 幸輝 2位
※北信越大会出場
男子 400mH 高平 紳介 7位
男子 4×100mR

- 柔道部 男子 66kg級
- 剣道部 男子団体
男子個人

- 女子団体 準優勝 ※北信越大会出場
- 女子個人 高木 優奈子 3位
- 空手道部 男子団体組手



- 女子バドミントン部 女子団体 3位
- 水泳部 男子 50m平泳ぎ 自畑 広大 5位
男子 100m平泳ぎ 自畑 広大 7位
男子 50mバタフライ 小池 暁大 4位
男子 100mバタフライ 小池 暁大 7位
女子 50m背泳ぎ 三口 撫子 優勝
女子 100m背泳ぎ 三口 撫子 2位
- ハンドボール部 女子団体 ベスト8

- サッカー部 3位
- 男子バスケットボール部 ベスト8
- 卓球部 男子団体 ベスト8
男子個人シングルス 津村 光佑
※北信越大会出場
女子団体 ベスト8



中央が室村

- 山本・室村・谷口・高平 8位
- 田辺 翔大 3位
- ベスト8 (5位)
- 供田 崇弘 優勝
- 齋川 将志 2位
- 高木 優奈子 3位

- 男子個人組手 61kg以下級 中村 由輝 3位 ※北信越大会出場
- 男子個人組手 68kg級 大箱 純哉 3位 ※北信越大会出場
- 男子個人形 2年の部 中村 由輝 優勝 ※北信越大会出場
- 女子団体組手 3位 ※北信越大会出場
- 女子個人形 1年の部 吉井 海結 3位 ※北信越大会出場

各種大会

- 野球部 北信越地区高校野球石川県大会 ベスト8
- サッカー部 全国高校サッカー選手権石川県大会 3位
金沢市長杯 1年生大会 優勝
- 男子バスケットボール部 石川県高等学校バスケットボール選手権大会 ベスト8
石川県高等学校新人大会バスケットボール七冠大会 ベスト8

- 陸上競技部 小松市ユース陸上競技選手権大会
男子 5000m 新家 悠太 2位
男子走幅跳 山本 柁平 5位

- 剣道部 加賀地区大会
男子団体 準優勝
男子個人 供田 崇弘 優勝
女子団体 優勝
女子個人 高木 優奈子 3位

- 石川県選抜大会
男子団体 3位
女子団体 準優勝
全道道府県対抗剣道優勝大会
男子個人 供田 崇弘 優勝
※全国大会出場

- 齋川 将志 2位
- 西川 広樹 3位

- 弓道部 冬季錬成大会 女子団体 8位
- 女子バドミントン部 石川県高等学校バドミントン県上大会 女子団体 3位



県新人大会にて

北信越大会

- 陸上競技部 男子 800m 室村 幸輝 7位
- 剣道部 女子団体 5位

- 美術部 金沢地区美術展 辻 楓香 佳作
田中 真珠 佳作
日学・黒板アート甲子園 秋野 結水・山下恵里佳 入賞



- ESS部 English Drama Festival 炭田 彩花 優秀賞
- 吹奏楽部 中部日本音楽祭個人・重奏コンテスト石川県大会 演奏者個人・重奏1京トフルート独奏 安橋 美裕 金賞



- ※県代表 石川県アンサンブルコンテストフルート四重奏 金賞
- ※県代表 クラリネット八重奏 銀賞
- サクソフォン四重奏 銅賞
- いしかわ吹奏楽コンクール新人戦 高校部門 金賞
- 合唱部 石川県高等学校ヴォーカルアンサンブルコンテスト A部門 銅賞

文化部各種成績



- 文芸部 文芸作品コンクール 俳句部門 中田 晶美 優秀賞
中村 望美 優秀賞
吉田 ずず花 優秀賞
小村 萌 優良賞
向 美咲 優良賞
中村 望美 優良賞
- 放送部 石川県高校放送コンテスト新人大会アナウンス部門 渡邊衣乃莉 優良賞 ※北信越大会へ



- 新聞部 高校新聞部インターハイ新聞コンクール 第 66 回石川県高等学校新聞コンクール 総合の部 最優秀賞 ※来年度全国紙文へ
- 全国高校生読書体験記コンクール 全国高等学校長協会賞 中村 望美
- 石川県書き初めコンクール 秀作 垣内 萌花